

聖愛

五月号

原町 聖愛 保育園

二〇一〇年五月一日発行

新人園児も保育園で過ごすことに慣れ、生活のリズムもついてきたようです。気温の変化が激しく、また、疲れも出てくる時期です。一人ひとりの体調の変化に留意しながら、安定してより楽しい毎日を通してるように配慮していきます。



「五千人に食べ物を与える」

その後、イエスはガリラヤ湖……の向こう岸に渡られた。大勢の群衆が後を追った。イエスが病人たちになさうとしたしるしを見たからである。……フィリポに、「この人たちに食べさせるには、どのパンを買えばよいだろうか。」と言われた。……フィリポは、「めいめいが少しずつ食べるためにも、二百デナリオン分のパンでは足りないでしょう。」と答えた。弟子の一人……が言った。……ここに大妻のパン五つと魚二匹とを持っている少年がいます。けれども、こんなに大勢の人では、何の役にも立たないでしょう。イエスは、「人々を座らせなさい」と言われた。……男たちはそこに座ったが、その数はおよそ五千人であった。さて、イエスは、パンを取り、感謝の祈りを唱えてから、人々に分け与えられた。……人々が五つの大妻、パンを食べて、なお残った。パンの屑で、十二の籠がいっぱいになった。

(ヨハネによる福音書6章1～13節から)

聖書の中には、いろいろな奇跡が書かれています。私たちは、何せだろう、どうしてだろうと奇跡そのものだけに目を奪われます。たしかに、五つのパンを五千人が満腹するまで食べ、しかも、パン屑が十二籠も残ったのですから。

しかし、聖書が教える大事な事は、大人が困っているのを見た少年が自分のものを「これ、上げるよ」と差し出した心にあります。この少年の心をイエス様が受け止め、大きな奇跡を起こされたのです。私たち大人は、自分が持つていてもこれ位では何の役にも立たないと、差し出すことをやめたりしがちです。また、子どもが差し出したものを見ても、「あなたのもだから出さなくてもいいよ!」と言ってよい方へ育って行くとする純粋な心を押さえてしまうことは無いでしょうか。

子どもに向かうイエス様に教えられながら、純粋な心を持つ子どもを育てたいと願っています。

(社会福祉法人ちいさな会 理事長・牧師 佐藤 健)

5月の保育目標

主題 「動きだす」

暗証聖句 『地はお造りになったものに満ちている。』 詩編104篇24節

保育目標		活動	保育者の配慮
てんし 0歳児	・保育者と一緒に安心して遊ぶ。	・触れ合い遊び (たかいたかい、いないいないばあ、ひこうき等) ・外気浴、日光浴 ・寝返り、ハイハイ、探索	・保育者が抱っここの要求や興味に気づき、気持ちを受け止め欲求を満たしながら、安心して遊び出せるようにする。 ・一人ひとりの発達段階をふまえ、寝返りやハイハイなどを促したり、色々な体勢を経験しながら体を動かすことを楽しめるようにする。
	・保育者との触れ合い遊びや好きな遊びを見つけ、楽しむ。	・布遊び (引っ張る、揺らす) ・タッチ、待て待てあそび ・固定遊具 (滑り台、回転シーソー) ・散歩 (斜面の登り降り)	・天気の良い日は、外あそびや周辺へ散歩に行くって、探索を楽しんだり、好きな固定遊具でじっくり遊べるようにする。 ・体を触れ合う遊びや布遊びを通して、保育者と遊ぶ楽しさを感じられるようにする。
はな 2歳児	・保育者や友だちと一緒に遊び、楽しむ。	・こいのぼり制作 (コンテ) ・かくれんぼ ・かけっこ ・本陣山散策 ・鬼ごっこ	・保育者や友だちのやっている事に関心を示し、真似をしたり、やってみたいという意欲を引き出す。 ・個々の発達、個人差をふまえながら、友だちや保育者と一緒に過ごす喜びを感じられるような機会を多く設ける。
ファミリークラス 3歳児	・好きな遊びを見つけて、遊びに関心を持つ。	《室内》 ・機織り (つき) ・リズム遊び (つき) ※1 ・紙粘土制作 ※2	・年上児がやっている遊びを見て、「やってみたい」と思ったり、真似てやってみようとしたりして、遊ぶ楽しさを感じられるように保育者が援助する。 ※3 ・面白さや色の不思議さを感じられるように、繰り返し保育者と一緒に行い、「またやりたい」という気持ちを持てるように、声かけや共感して遊ぶ。 ※4
	・友だちのやっていることに興味を持ち、すすんでやってみる。	・ぼかし絵 (なみ) ※4 ・パインダー作り (つき・ほし) ※6	・何回か経験することでルールを覚え、友だちと一緒に遊ぶことを楽しめるよう、正しいことを伝えたり、出来た時には一緒に喜び導く。 ※5 ・年長児のやっていることに関心を向け、「やってみたらできた」という経験を重ね、その過程を大切にしながら面白さを引き出していく。 ※6
	・友だちや様々な物に自ら関わることを喜び、行動する。	《戸外》 ・リレー (つき) ・歩く、走る、斜面の登り降り、しっぽとりゲーム (なみ) ※3 ・鬼ごっこ ※5	・周りのことを意識して行動し、時には人に合わせることを、友だちとの活動で促すと共に、遊びも共有して楽しめるよう配慮する。 ※1 ・自然体験や、イメージを膨らませて遊ぶことを大切にし、経験から思いついたことを形にして遊べるように、材料選びや提供を工夫する。 ※2

◎5月の予定◎

日付	園の行事	職員の予定
3(月)	憲法記念日(休園)	
4(火)	みどりの日(休園)	
5(水)	子どもの日(休園)	
6(木)		職員会議
7(金)	野菜の苗植え 久米本先生指導 家庭訪問(28日まで)	聖書研究 めぐみの会
11(火)	しゃりん梅訪問(ほし)	構造化会議
12(水)	子育てサークル	ケース会議
13(木)	ポップコーン(クラブ活動)	保育士部会
14(金)	森あそび(つき)	聖書研究 タラントの会
17(月)		ちいろば会理事会
18(火)	合同礼拝	マネージャー会議
19(水)	世代間交流自己紹介訪問(つき)	
20(木)	小人さんの音楽会	ペンテコステ勉強会
21(金)	しゃりん梅訪問(ほし)	キリスト教保育連盟総会 (~22日)
24(月)	お弁当の日、お母さん勉強会、 ペンテコステ礼拝	
25(火)	食育体験「キッズの話」 (ファミリークラス)	園内研修
26(水)	子育てサークル	給食会議
27(木)	ポップコーン(クラブ活動)	
28(金)	避難訓練、尿・ぎょう虫卵検査(全員)	

《野菜の苗植え》

日時 5月7日(金) 9:00~
場所 原町聖愛保育園 畑

準備物 長靴、スモックなどの汚れても良い服(つき組は前日に畑の畝作りをしますので、6日に持たせてください。)

※つぼみ組、はな組は保育室前に作ったミニ畑に苗を植え、野菜の生長を自由に観察できるようにします。



《しゃりん梅訪問》

毎月1~2回 ほし組

デイサービスセンター「しゃりん梅」を訪問し、うたを歌ったり、一緒に遊んだりしながらお年寄りの方々と交流をします。

核家族が多くなっていますが、世代間の交流で子ども達の心を更に豊かに育てていきます。



《小人さんの音楽会》

毎月1回

ファミリークラスを対象に、昔から歌い継がれてきた童謡や季節の歌などを中心に、歌ったり聴いたりします。「歌う」楽しさを味わうだけでなく、聴いて心地よさを感じ、さらにはマナーなども身につけていきたいと考えています。

三沢 真知子先生(ピアノ・歌)、高野 純先生(オーボエ)

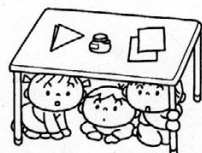
《避難訓練》

毎月1回

火災や地震を想定し、安全に避難できるように練習をします。避難場所を覚え、避難する時の心構えを身につけます。

昨年度は地震が多い年でしたが、子ども達の話から、家庭でも素早くテーブルの下などに避難できたようです。様々な状況の中でも、慌てず安全に避難できるように心構えをしておく必要があります。

今年度も、保護者の方々と一緒に行う引き渡し訓練や、地域の方々の協力を得ての総合訓練、防犯訓練を予定しています。



ペンテコステ礼拝

24日(月)つき、ほし

ペンテコステは『聖霊降臨日』の意味で、クリスマス、イースターに並ぶキリスト教の三大祭のひとつです。イースターから数えて50日目に祝われます。

弟子たちが集まって祈っていた時に、聖霊(神の大きく賢い力)が一人ひとりに降りました。弟子たちは福音を広く伝えるために立ち上がり、『教会』の始まりとなったのです。

つき・ほし組の子どもたちは教会の礼拝堂で、小さいクラスの子もたちは各お部屋でペンテコステ礼拝を守り、教会の誕生日をお祝いします。また、ファミリークラスの子もたちは、ペンテコステのシンボル「ハト」をかたどったクッキーを作ります。



今月の主題「動きだす」

新しい環境での生活が始まり一カ月が経ちました。お家の方と離れるのが不安で、思い出しては泣いていた子どもたちも、保育者やクラスの友だちの顔を覚え少しずつ安心して過ごせるようになりました。

一日の流れや当番の仕事を覚え意欲的に過ごしている年長児。小さい組の子どもたちも友だちの側に近寄って行き、同じ遊びをやってみるなど、子どもたちの姿は日々変わっています。安心し、心が安定することにより、周りへの興味が広がってきています。

「これは何だろう」「面白そう。やってみたいな」という子どもたちの興味や関心を大切に、子ども自ら一歩を踏み出せるような保育を今後も心がけていきます。

クラブ活動『ポップコーン』

ファミリークラス対象

- *クレヨンクラブ(造形・絵画)
- *葉っぱクラブ(自然体験)
- *トライクラブ(運動遊び)



自分でやってみたいクラブを選び、一年間楽しく遊びます。普段の遊びとは違う、新しい経験や発見をしながら子ども達が自主的に取り組み、楽しめるように考えています。

異年齢・世代間交流事業

ファミリークラス(主に4・5歳児)を対象に、卒園児や近所のお年寄りの方と触れ合う機会を設けています。

小学生になった卒園児は、懐かしそうに遊びに来てくれます。また、世代間交流会では優しいおじいさんおばあさんと一緒にかしわ餅を作ったり、いちご狩りに行ったりして、お喋りをしながら自然な触れ合いの時間を過ごしています。

今月は、近所のお年寄りの方々に「一年間よろしくお願ひします」と、自己紹介カードを届けに行きます。子どもたちのことを知っていただくと共に、ふれあうことで昔ながらの文化や生活の知恵を教えてくださいたいことをねらいとして、地域の方々と協力・連携を取りながら、保育園の事業を行っています。

家庭訪問

5月7日~28日 全家庭

日頃お話し出来ないことやご家庭での様子をお伺いし、また、保育園での様子などをお伝えして、ご家庭と一緒にお子様の成長について考えたいと思います。

◎お知らせ

- ・尿、ぎょう虫卵検査~容器とピンテープを26日に配布します。提出日は28日ですので忘れないようにしてください。また、当日、病気や都合で欠席される場合は、朝10時まで園に届けてください。
- ・午睡用布団類の持ち帰りは、14日(金)・28日(金)です。

*新しい職員紹介

杉 浩子先生(つぼみ組)、佐藤 由美子先生(てんし組)
どうぞよろしくお願いいたします。